

「太刀」 県宝（工芸品）

所在地：大字坂城 所有者：個人 指定：昭和40年1月14日

「信濃国壽昌、於小諸藩弘化二年二月作之」の銘が^{めい}あって、刃長76.4cm、反り1.8cm。鎚造り、庵棟^{しのぎ いおりむね}でやや細身^{ぼうし}。銚子はやや延び、心が乱れこんでいます。茎はうぶで、鑢目は大筋違^{なかご やすり おおすじちがい}とし、先は栗尻^{くりじり}で、目釘穴は一つ。地鉄は板目の鍛^{きたえ}がよくねれて、つよく冴えています。刃文は互の目に丁字がまじり、金筋砂流し^{きんすじすなが}があります。

壽昌^{としまさ}は山浦真雄^{まさお}の初期銘です。真雄は文化元年（1804）小県郡赤岩村^{ちいさがたぐんあかいわむら}（現東御市^{とうみし}）に生まれ、文政11年（1828）江戸に出て、水心子正秀^{すいしんしまさひで}について鍛刀の技術^{たんどう}を学び帰郷し、初め小諸藩士^{こもろはんし}のために作刀したものです。

この太刀は小諸藩時代の山浦真雄初期の傑作です。

